

横浜市立すみれが丘小学校 平成28年度 学力向上アクションプラン

1 学校の状況と地域の実態

- (1) 本年度41周年を迎える古くからの落ち着いた住宅地である。保護者・地域の方は学校に協力的である。
- (2) 高学年に上がるほど、学習内容の理解力が高まる集団が多い。学校の学習で得た力だけではない要素が考えられる。
- (3) 27年度までと同様、朝の一斉読書の時間を実施する。読書指導を計画的に行う。
- (4) 授業サポートにおいては、保護者だけでなく、地域の人材や外部講師にもサポートをお願いする。

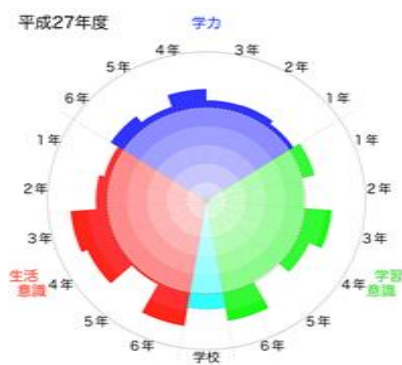
2 今後の方向（中期学校経営方針）

（2）学力向上に関する指導の目標・方針（平成28年度末の姿）

- 主体的に問題解決する姿勢と、学び合いを通して、児童が思考力・判断力・表現力を発揮できるように指導する。
- 学習スタンダードに基づき、誰もがわかりやすく参加しやすい学習の充実を工夫する。
- 重点研究をはじめとする研究・研修時間を確保し、研究・研修の内容を充実させる。

3 横浜市学力学習状況調査等からの平成28年度の実態把握

（1）学力の概要と要因の分析



全体的には市の平均的学力を上回っている。学年により違いもみられるが、学習意識、生活意識ともに市の平均よりも高く、意欲的に取り組んでいることが伺える。

学習意識は26年度よりも高まっている。全体的に、児童の学習に対する意欲は高い。

（2）教科学習の状況

- 学年によって違いはあるが、どの教科でも市の平均に比べ正答率が上回っている。
- どの教科もほぼ市の平均を上回っているが、内容によっては定着が不十分と思われるものも各学年に見られるので、28年度での学習で補っていく必要がある。

（3）経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

26年度より学習意識が向上している学年が多い。中でも、社会科、理科の学習に対する意識の向上が見られ、課題解決的な学習に対する意欲をもっていることがわかる。これら意欲の向上が今後の学力の向上につながっていくと考えられる。

全体としてどの教科も基礎・基本となる学習は内容によって違いは見られるものの、ほぼ身に付いていると思われる。国語科、理科では、活用の部分については、十分とは言えない部分もみられるので、28年度の学習で補っていく必要がある。

4 平成28年度 目標と具体的方策

平成28年度 目標

基礎・基本の定着に重点を置くとともに、「学び合い」を重視した授業を取り入れ、主体的に問題解決していく中で思考力・判断力の育成を目指す。

(1) 学校組織としての共通の取組

☆「言語活動」「学び合い」の充実

- ① 全学級で「学習スタンダード」と「問題解決」を意識した授業展開を図るとともに、スキルタイム、家庭学習による基礎・基本の定着と授業改善による思考力、判断力、表現力の向上を目指す。
- ② 重点研究では、図画工作科・算数科の指導を通して、学び合いを重視し、思考力・表現力等児童の資質・能力を育む。

(2) 学年・教科等としての取組

個別支援学級

- 個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、発達段階に応じた適切な表現手段を積極的に活用する場面を設けるようにし、自分の考えや表現に自信をもてるようにする。
- 子どもの発達段階に応じて、各学年の取り組みを参考にし、必要な取り組みを行うようにする。
- 主に生活単元学習において、課題意識をもって学習に取り組めるような学習展開となるように単元構成を工夫する。

1 学年

- 自分の考えや表現に自信をもつと共に、友達の表現の良さを認め合う態度を育てる。
- 課題意識をもって学習に取り組めるような学習展開となるように単元構成を工夫する。
- 目的意識・相手意識をもって、自分から表現できるような場면을学習に位置付ける。

2 学年

- 自分の考えや表現に自信をもつと共に、友達と互いの表現の良さを認め合おうとする態度を育てる。
- 課題意識をもって学習に取り組めるような学習展開となるように単元構成を工夫する。
- 目的意識・相手意識をもって、主体的に表現することができるような場면을学習に位置付ける。

3 学年

- 自分の考えや表現に自信をもつと共に、友達の表現の良さに気付き、伝えあう態度を育てる。
- 課題意識をもって学習に取り組めるような学習展開となるように単元構成を工夫する。
- 目的意識・相手意識をもって、工夫して表現することを意識できるような場면을学習に位置付ける。

4 学年

- 自分の考えや表現に自信をもつと共に、友達の表現の良さに気付き、自分の見方や考え方を広げていこうとする態度を育てる。
- 課題意識をもって学習に取り組めるような学習展開となるように単元構成を工夫する。
- 目的意識・相手意識をもって、主体的に表現を工夫することを意識できるような場면을学習に位置付ける。

5 学年

- 自分の考えや表現に自信をもつと共に、友達の表現の良さに気付き、見方・考え方から学びとっていこうとする態度を育てる。
- 課題意識をもって学習に取り組めるような学習展開となるように単元構成を工夫する。
- 目的意識・相手意識をもって分かりやすく表現することを意識できるような場면을学習に位置付ける。

6 学年

- 自分の考えや表現に自信をもつと共に、友達の表現の良さに気付き、見方・考え方から学びとったことを自分自身に生かそうとする態度を育てる。
- 課題意識をもって学習に取り組めるような学習展開となるように単元構成を工夫する。
- 目的意識・相手意識をもって分かりやすく、効果的に表現することを意識できるような場면을学習に位置付ける。